

新型コロナウイルス感染者の入院について

先日の新年のご挨拶の中で、新型コロナウイルス診療における当院の役割は、これまでと同様、PCR 検査による診断と、緊急入院後に判明した陽性者が転院するまでの一時的な受け皿であることを述べました。その方針に変更はございません。しかしながら、昨今の急激な感染拡大に伴い、肺炎で緊急入院された患者さんの PCR 検査の結果が陽性と判明しても、感染症指定病院のベッドに余裕がなく、転院先が見つからないケースが発生しております。当院には、緊急入院の際に、PCR の結果が判るまで陽性者として対応する感染専用病棟が整備されており、この病棟で転院が困難となっている陽性患者さんの治療を継続しております。都内の医療機関の状況を鑑みますと、社会貢献の点からも、人道的見地からも当院が負うべき務めであろうと考えております。

これまでも、緊急入院後の PCR 検査で陽性と判明した患者さんは複数名いらっしゃいましたが、感染専用病棟の運用を開始してから院内感染は全く起きておりません。この病棟では、陽性の患者さんは 2 重の扉で遮蔽された一郭に入室し、基本的には病室内のみで生活していただきます。CT 検査などの際も、動線や時間帯を分けておりますので、他病棟の入院患者さんや外来患者さんが接することはございません。私どもも経験から積み上げて来た厳格な感染防止対策をしっかりと遵守してまいりますので、ご心配することなくこれまで通りの通院や入院治療を続けていただきたいと思います。

都内の感染状況が落ち着くまでの一時的な対処と考えておりますので、ご理解の程お願いいたします。

2021 年 1 月 7 日
永寿総合病院 病院長